

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成30年3月30日

計画の名称	中心市街地の賑わいと誰もが安心して安全に暮らせる快適空間の創出									
計画の期間	平成24年度～平成28年度（5年間）			交付対象	厚木市					
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>中心市街地における賑わいの再生</li> <li>中心市街地における快適な歩行空間等の充実</li> <li>中心市街地における交通拠点の強化</li> </ul>									
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> <li>中心市街地の賑わいの再生を図ることによる歩行者通行量の増加</li> <li>本厚木駅周辺における歩行者空間に対する意識</li> <li>交通拠点の機能強化を図ることによる、バスセンターにおける路線バスの待機延長の減少</li> <li>市街地再開発事業等による中心市街地の魅力や利便性の向上</li> </ul>									
定量的指標の定義及び算定式						定量的指標の現況値及び目標値		備考		
						当初現況値 (H23当初)	中間目標値	最終目標値 (H29末)		
	市民意識調査によるアンケート結果 「本厚木駅周辺のイメージについて（活気の有無）」					43.0%		48.0%		
	市民意識調査によるアンケート結果 「本厚木駅周辺の歩道整備について」					68.4%		75.1%		
	中町第2-2地区周辺整備に係る 中心市街地交通環境調査「厚木バスセンターの状況」					80.0m		0m		
	市民満足度調査によるアンケート結果 「中心市街地の魅力や利便性の向上について」					(H26) 50.9%		(H29) 52.9%		
全体事業費	合計 (A+B+C)	4,212.8 百万円	A	3,893.7 百万円 (内提案分：19百万円)	B	0 百万円	C	319.1 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	8.0 %

事後評価（中間評価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期	
事後評価（中間評価）の実施体制	事後評価（中間評価）の実施時期
厚木市公共施設最適化検討委員会において実施。	事業終了後（平成29年度）
	公表の方法
	厚木市ホームページ上にて公表

1. 交付対象事業の進捗状況

1. 交付対象事業の進捗状況

A1 下水道事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
									H24	H25	H26	H27	H28			
A-1	都市再生整備	一般	厚木市	直接	厚木市	本厚木駅周辺地区都市再生整備計画事業	既存建造物活用事業ほか	厚木市							3,508.5	
A-2	再開発	一般	厚木市	間接	本厚木駅南口地区市街地再開発組合	本厚木駅南口地区市街地再開発事業	商業、業務、住宅等 約0.8ha	厚木市							363.3	
A-3	街路	一般	厚木市	間接	本厚木駅南口地区市街地再開発組合	本厚木駅南口広場拡充整備事業	広場整備 約0.4ha	厚木市							21.9	平成28年度以降は防災・安全交付金へ移行
合計												3,893.7	計画			

B 関連社会資本整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H24	H25	H26	H27	H28		
合計															

番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

C 効果促進事業											備考				
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	
									H24	H25		H26	H27		H28
C-1			厚木市	直接	厚木市	防犯カメラ設置事業	N=1.0箇所	厚木市							2.7
C-2			厚木市	直接	厚木市	地下道防犯シャッター設置事業	N=14.0箇所	厚木市							24.2
C-3			厚木市	直接	厚木市	中心市街地空き店舗出店支援事業	N=15件	厚木市							7.3
C-4			厚木市	直接	厚木市	中町第2-2地区周辺整備事業	N=1.0式	厚木市							10.0
C-5			厚木市	直接	厚木市	一番街周辺地区整備事業	N=1.0式	厚木市							4.9
C-6			厚木市	直接	厚木市	公共施設再配置推進事業	N=1.0式	厚木市							270.0
										合計					319.1
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考				
C-1	防犯対策の一環である防犯カメラの設置を行い、本厚木駅周辺の安心安全の向上を図る。														
C-2	地下道防犯シャッターの設置を行い、地下道の体感治安の改善を図るとともに、本厚木駅周辺の安心安全の向上を図る。														
C-3	空き店舗出店支援事業を行い、中心市街地の活性化を図る。														
C-4	中町第2-2地区の交通機能の拡充を含めた官民協働事業の推進を図ることにより、交通機能の強化及び賑わいの再生を図る。														
C-5	一番街周辺地区の再整備を推進することにより一番街周辺地区の良好な歩行空間の確保と賑わいの創出を図る。														
C-6	中心市街地に立地する公共施設について、中心市街地内での移転や建替え、改修を順次実施し、都市機能の拡散防止と公共不動産の有効活用を図る。														

## 2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> <li>中心市街地における公共施設再配置計画に基づき、既存建築物や施設跡地を活用して、公共施設の集約を図ったことで、新たに整備した地域交流センターの利便性が高まり、賑わいを再生することができた。</li> <li>待機延長の解消までは至らなかったが、都市サイン整備や市道A-1号線を改修し、歩車分離を促進することで、一定の改善効果が見られた。</li> </ul>			
II 定量的指標の達成状況	指標① 本厚木駅周辺のイメージについて(活気の有無)	最終目標値	48%	目標値と実績値に差が出た要因	既存建築物を活用して、中心市街地における公共施設の集約を図ったことで、新たに整備した地域交流センターの利便性が高まったことで、本厚木駅周辺における賑わいを再生できたため、増加傾向にあった「活気がない」と感じる人の割合を大幅に減少させることができた。
		最終実績値	31.8%		
	指標② 本厚木駅周辺の歩道整備について	最終目標値	75.1%	目標値と実績値に差が出た要因	都市サイン整備や市道A-1号線を改修し、快適な歩行空間の形成を目指したものの、効果が発揮されず、市民意識においては目標達成までには至らなかった。
		最終実績値	66.3%		
	指標③ 厚木バスセンターの状況	最終目標値	0 m	目標値と実績値に差が出た要因	待機延長の解消までは至らなかったが、都市サイン整備や市道A-1号線を改修し、歩車分離を促進することで、一定の改善効果が見られた。
		最終実績値	60 m		
	指標④ 中心市街地の魅力や利便性の向上について	最終目標値	52.9%	目標値と実績値に差が出た要因	中心市街地の賑わいを再生することで、指標1に掲げる活気に対する意識は改善されたが、交通機能等の利便性向上につながらなかったことから、目標達成までには至らなかった。
		最終実績値	47.2%		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況(必要に応じて記述)		<ul style="list-style-type: none"> <li>既存建築物を活用し、新たな商業施設と併せて、子育て支援、文化・芸術、生涯学習の拠点として整備したことにより、様々な世代の市民が集う、本市の新たなランドマークとして多くの市民に認識されている。また、9階の映画館の来場者数が増加したため、「シャワー効果」により階下のフロアへの回遊性が生まれた。</li> <li>厚木市公共サインガイドラインに基づき、都市サインを整備したことにより、周辺環境に配慮された、連続性、一体感のある公共サインとなり、市民はもとより、障がい者、高齢者等、誰もが歩きやすい歩行空間となった。また、宿泊施設の案内を加えたことにより、市外、海外からの来訪者の利便性が向上した。</li> <li>市道A-1号線(地下道)の改修により、地下道の利用者数が増え、歩車分離が促進されたことで、地上における右左折がスムーズとなった。</li> </ul>			

## 3. 特記事項(今後の方針等)

- ・商店会や企業等、民間と行政が一体となって、魅力あるまちづくりを推進する。
- ・(仮称)あつぎ元気館の利用者数を維持するため、文化芸術の振興や、生涯学習の推進、子育て支援を継続する。
- ・厚木市公共サインガイドラインに基づき、快適な歩行環境及び良好な景観の保持に努める。
- ・歩車分離を促進するため、地下道の歩行環境保持に努める。
- ・近隣都市の状況を把握しつつも、本市の特性を生かした独自性のあるまちづくりを推進し、魅力の向上と賑わいの創出を図る。
- ・中心市街地全体を俯瞰した、計画的かつ戦略的なまちづくりを推進し、将来を見据えた持続的な賑わいを創出する。
- ・誰もが歩きやすい歩行空間を確保し、中心市街地における回遊性の向上を図る。
- ・快適性や安全性に配慮した歩行空間を整備し、中心市街地の利便性の向上を図るとともに良好な景観を形成する。
- ・本市の都市構造を踏まえた機能的で利便性の高い交通環境を整備し、交通ネットワークの更なる強化を図る。

# 社会資本総合整備計画

